

4 個別産業の動向

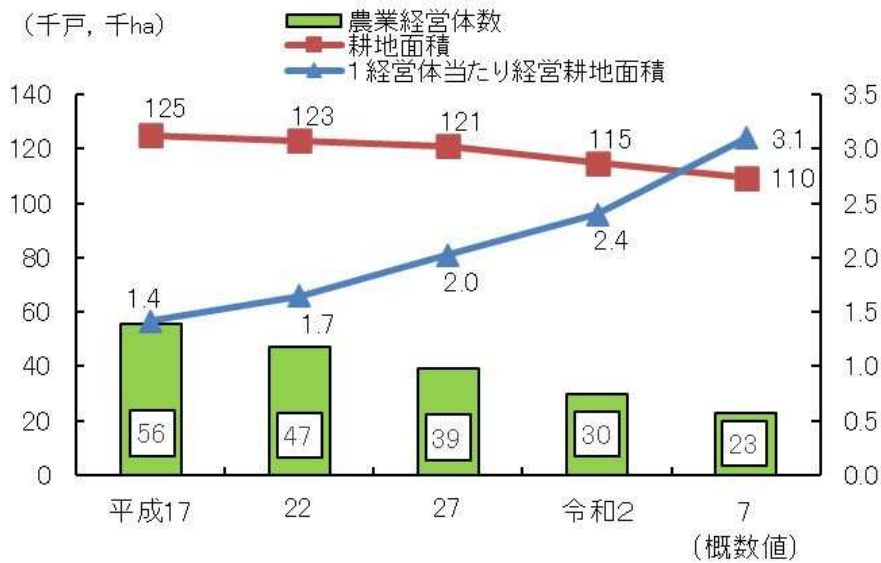
(1) 農業

令和7年の本県の耕地面積は109,500ha、農業経営体数は22,825経営体、1経営体当たり経営耕地面積は3.1haとなっており、農業経営体数が減少する一方で、農地集積により、農業経営の規模拡大が進んでいる。

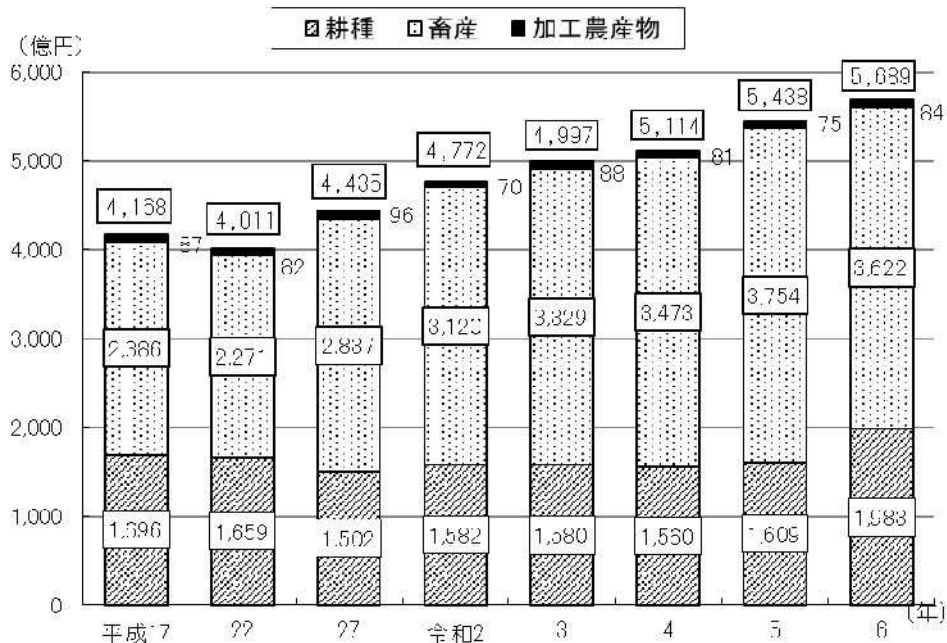
令和6年の本県の農業産出額は、5,689億円で全国第2位となっている。なお、本県の農業産出額のうち、約64%を肉用牛などの畜産部門が占めている。

令和5年度の本県の食料自給率は、カロリーベースで81%(概算値)と、全国(38%)の2.1倍の水準である。生産額ベースでは261%(概算値)と、全国(62%)の4.2倍と更に高い水準となっている。これは、価格の高い畜産物や野菜類が占める割合が多いことによる。

① 耕地面積と農業経営体数、1経営体当たりの経営耕地面積の推移



② 農業産出額の推移 ②-1 本県部門別



②-2 上位5道県

(単位：億円，%)

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	(参考) 全国
R3	北海道 13,108	鹿児島県 4,997	茨城県 4,263	宮崎県 3,478	熊本県 3,477	88,596
R4	北海道 12,919	鹿児島県 5,114	茨城県 4,409	千葉県 3,676	熊本県 3,512	90,116
R5	北海道 13,478	鹿児島県 5,438	茨城県 4,571	千葉県 4,029	熊本県 3,757	95,543
R6	北海道 14,817	鹿児島県 5,689	茨城県 5,494	千葉県 4,533	青森県 4,119	108,200
R6/R5	109.9	104.6	120.2	112.5	118.8	113.2

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

③ 農業生産の動き

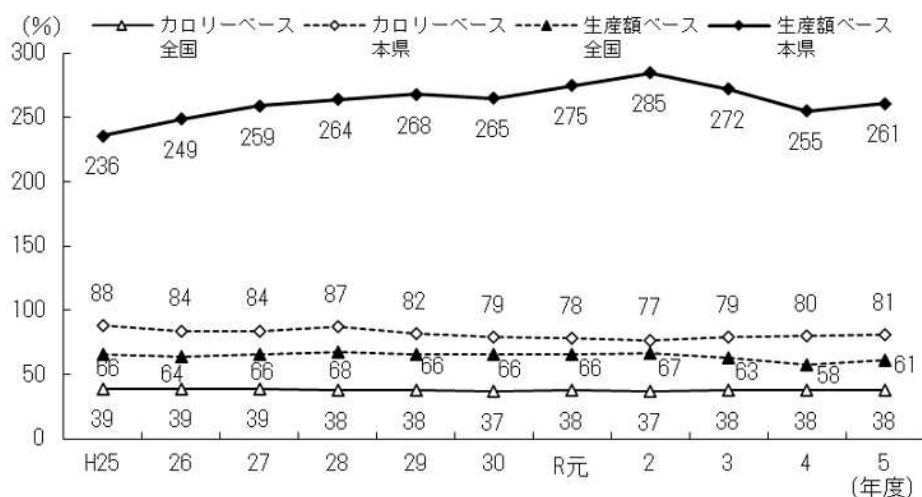
(単位：億円，%)

	H17	22	27	R2	3	4	5	6	
								産出額	構成比
耕種部門	1,696	1,659	1,502	1,582	1,580	1,560	1,609	1,983	34.9
米	253	202	191	208	176	169	173	336	5.9
さつまいも	196	171	165	140	118	164	195	223	3.9
野菜	432	519	557	562	545	531	573	704	12.4
果実	101	94	85	98	105	112	112	129	2.3
茶(生葉)	217	174	133	130	152	154	140	157	2.8
さとうきび	103	143	110	116	130	128	137	137	2.4
花き	177	149	136	113	118	125	127	128	2.2
畜産部門	2,386	2,271	2,837	3,120	3,329	3,473	3,754	3,622	63.7
乳用牛	91	95	111	106	103	98	96	97	1.7
肉用牛	778	741	1,060	1,151	1,240	1,228	1,208	1,192	21.0
豚	755	665	738	856	900	909	910	912	16.0
鶏	760	766	921	1,005	1,084	1,237	1,540	1,420	25.0
加工農産物	87	82	96	70	88	81	75	84	1.5
農業産出額	4,168	4,011	4,435	4,772	4,997	5,114	5,438	5,689	111.2
生産農業所得	1,289	1,028	1,367	1,415	1,712	1,493	1,534	1,623	-

資料：農林水産省「生産所得統計」

(注) 主な作目の産出額を示したもので、これらの合計額と部門計は一致しない。

④ 食料自給率の推移



⑤ かがしまブランド

県では、鹿児島県の強みを生かせる農畜産物を「かがしまブランド産品」として指定し、これらをしっかりとつくる産地づくりとこれらの魅力をしっかりと伝える販売促進活動を展開している。

なお、一定の基準を満たした生産者団体等を「かがしまブランド団体」として認定している。

[かがしまブランド産品一覧]

区 分	かがしまブランド産品名	
野 菜	かごしまの	かぼちゃ、ピーマン、きゅうり、にがうり、オクラ、いちごなす、トマト、ミニトマト、青パパイア、そらまめ 実えんどう、スナップえんどう、さやいんげん さやえんどう、ばれいしょ、さつまいも、ごぼう、にんじん さといも、だいこん、らっきょう、根深ねぎ、はくさい キャベツ、ブロッコリー、こまつな
花 き	かごしまの	キク、ユリ、レザーリーフファン、グラジオラス、ソリダゴ
果 物	かごしまの	たんかん、きんかん、大将季、紅甘夏、マンゴー パッションフルーツ
	G I 産品	辺塚だいたい、桜島小みかん
お 茶	かごしま茶	
牛 肉	鹿児島黒牛 (G I)	
豚 肉	かごしま黒豚	
鶏 肉	かごしま地鶏	
米	かごしまの米	

資料：農政部



かがしまブランド

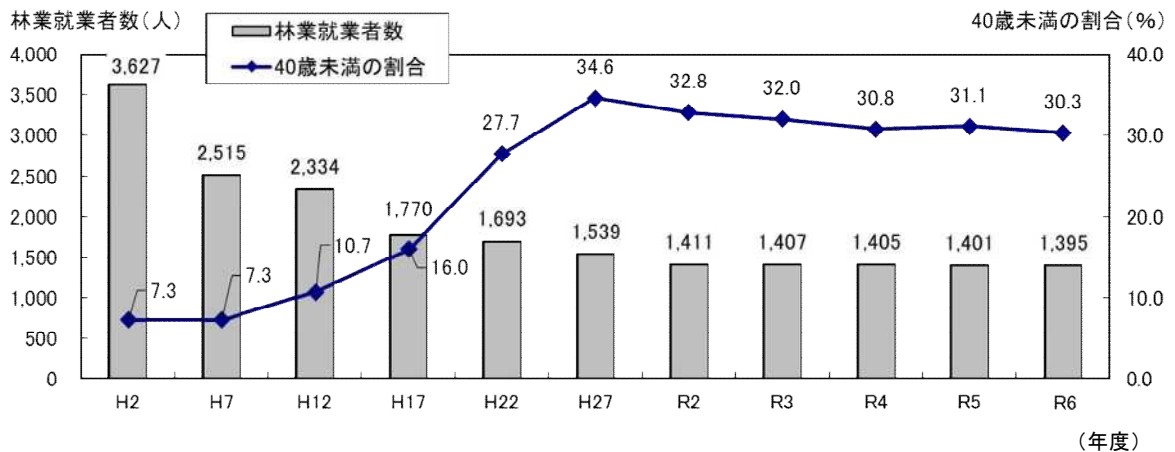
かがしまブランドマーク

(2) 林業

本県の令和6年度の林業就業者数は1,395人で、近年緩やかな減少傾向で推移しており、40歳未満の割合は3割程度となっている。

本県の令和6年の林産物生産額は205億円で、平成2年をピークに減少していたが、近年は素材生産量の増加に伴い増加傾向にある。

① 林業就業者数の推移

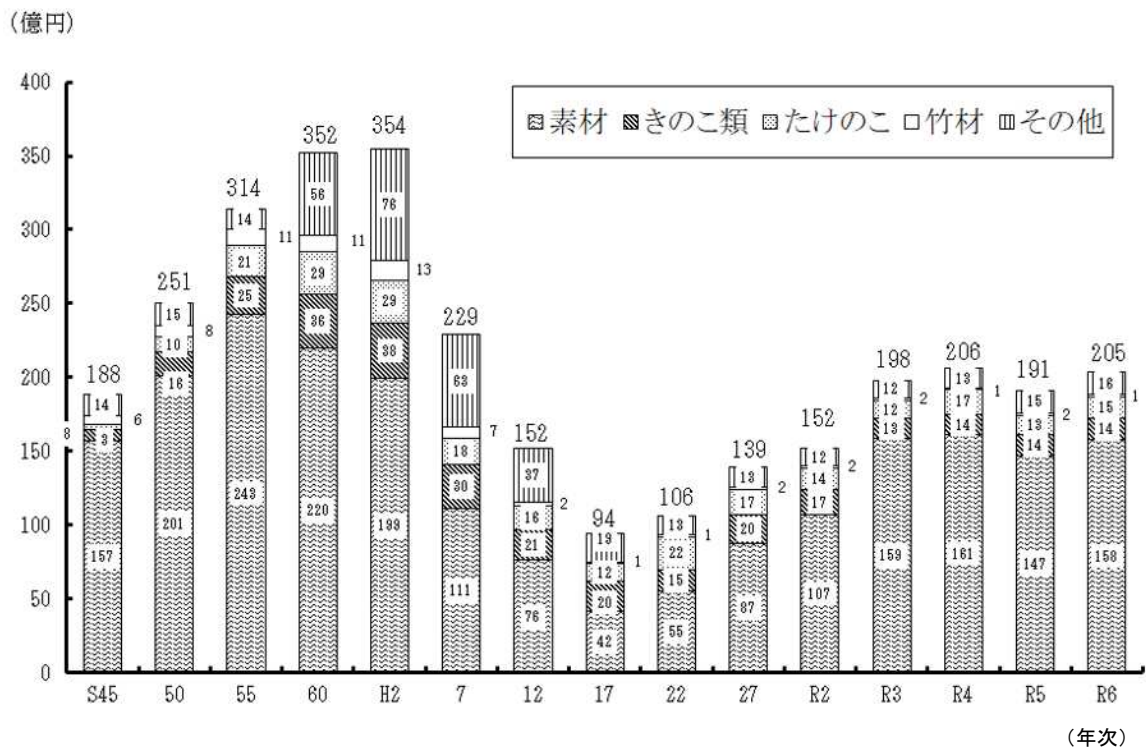


資料：環境林務部資料

(注) 1 40歳未満の割合は、森林組合林業技能者の年齢構成による。

2 当調査の林業就業者は、森林組合等に雇用されるなど森林施業に従事する者としており、分類等の統計手法が異なるため国勢調査の計数と一致しない。

② 林産物生産額の推移



資料：環境林務部「県森林・林業統計」

(注) 素材は年度

③ 主要林産物生産額等の推移

(単位 : 百万円, %)

年次 区分	H 2	構成比	H27	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	構成比	R 6 / R 5
	素 材		19,872	56.1	8,686	11,640	10,701	15,857	16,098		14,669
苗 木	276	0.8	159	165	210	265	310	461	579	2.8	125.6
生しいたけ	1,988	5.6	1,041	701	854	616	667	585	496	2.4	84.8
乾しいたけ	844	2.4	210	242	231	226	214	255	205	1.0	80.4
竹 材	1,263	3.6	205	168	162	163	142	155	139	0.7	89.7
たけのこ	2,875	8.1	1,744	1,607	1,419	1,228	1,667	1,312	1,491	7.3	113.6
そ の 他	8,326	23.5	1,818	1,542	1,618	1,451	1,514	1,682	1,741	8.5	103.5
合 計	35,444	100.0	13,863	16,065	15,195	19,806	20,612	19,119	20,454	100.0	107.0
製 材 品	25,919	-	8,444	9,329	12,215	16,908	19,730	15,656	13,313	-	85.0
チ ッ プ	7,580	-	1,883	3,401	3,450	3,172	3,508	3,947	4,088	-	103.6
合 板	3,316	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

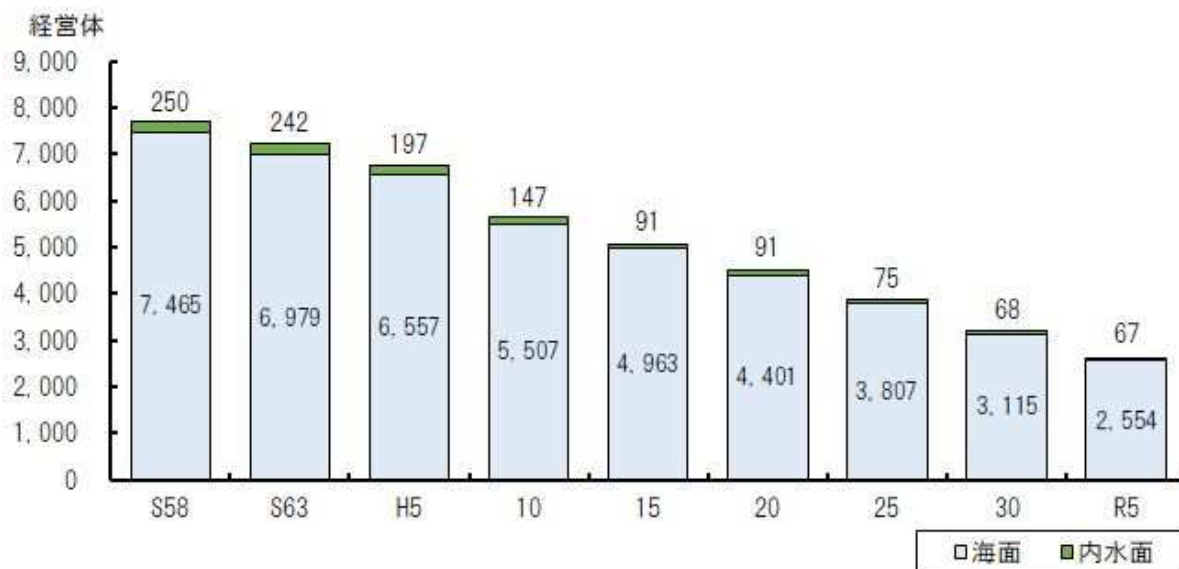
資料：環境林務部「県森林・林業統計」

(注) 素材・製材品・チップ・合板は年度

(3) 水産業

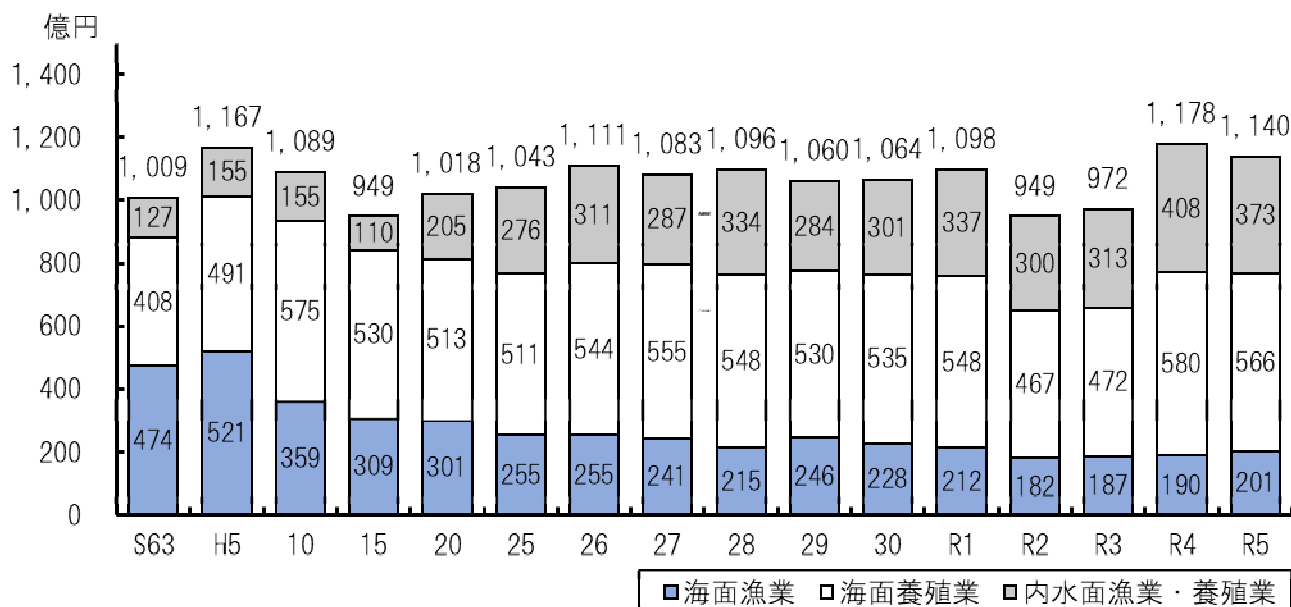
本県の漁業経営体数は年々減少してきており、令和5年は2,621経営体で、昭和58年の約3割まで減少している。また、漁業産出額（海面・内水面合計）は、近年1,000億円前後で推移している。

① 漁業経営体数の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」（ただし、内水面は県水産振興課調べ）

② 漁業産出額の推移



資料：農林水産省「漁業産出額」（ただし、内水面は県水産振興課調べ）

③ かごしま旬のさかな

本県では、県内で生産される豊富な魚種の中から、季節毎の旬の味に着目した魚介類（18種）を「かごしま旬のさかな」に選定して、県内外へPRし、本県産水産物の消費拡大と魚食普及を推進している。

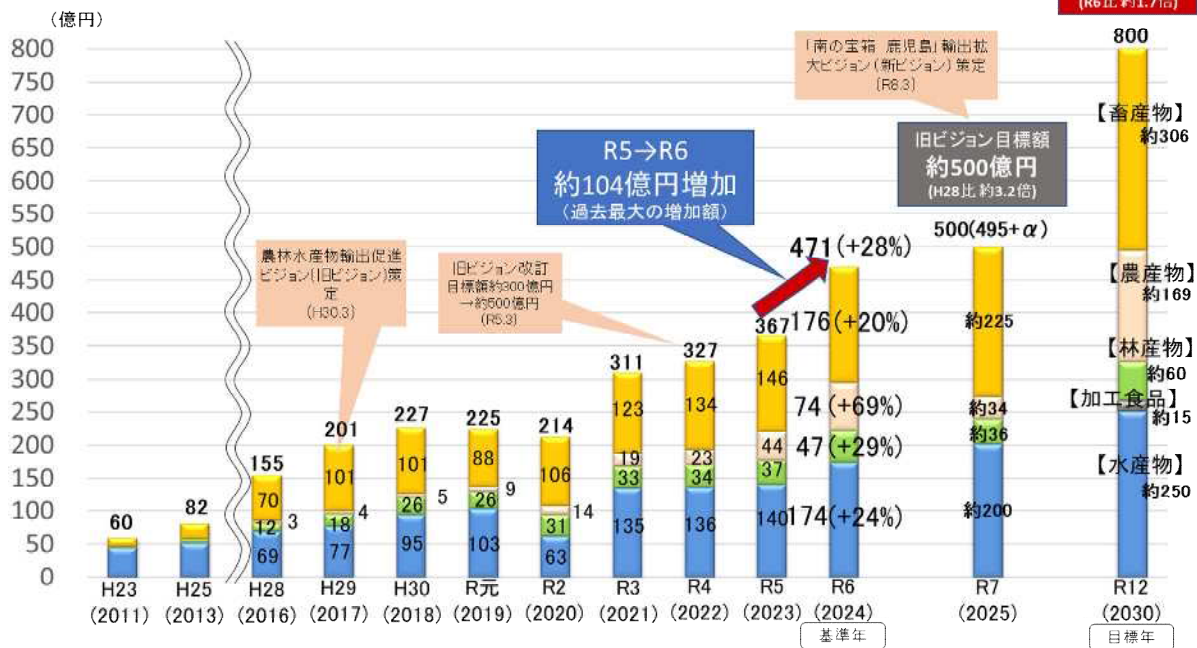
	魚 種	主 な 産 地
春	マダイ カツオ トビウオ アサヒ(ミズウ)	北薩, 西薩, 鹿児島湾 南薩, 奄美 熊毛, 奄美南部 甑島, 南薩, 熊毛
夏	キビナゴ マダコ トコブシ ウナギ	甑島, 熊毛 北薩, 鹿児島湾 熊毛 大隅, 川内, 指宿 (いずれも養殖)
秋	カンパチ バショウカジキ サバ アサヒガニ ツキヒガイ	南薩, 熊毛, 奄美 (養殖), 鹿児島湾 (養殖) 西薩, 甑島 北薩, 熊毛 熊毛, 奄美 西薩
冬	ブリ マイワシ カサゴ(アラカブ) クルマエビ イセエビ	甑島, 南薩, 大隅, 北薩 (養殖), 鹿児島湾 (養殖) 北薩, 南薩 北薩, 南薩, 鹿児島湾 北薩, 熊毛 (養殖), 奄美 (養殖) 県内各地

資料：商工労働水産部資料

(4) 県産農林水産物の輸出額の推移

令和6年度輸出額は前年度比28%増の約471億円となり、4年連続で平成23年度の公表開始以降の最高額を更新した。

輸出先は養殖ブリ、お茶、牛肉を中心とした米国が最大で、次いで牛肉、お茶等を中心としたEU、丸太を中心とした中国が多い。



資料：環境林務部，商工労働水産部，農政部調べ

(5) 製造業

本県の製造業は、食料品等の比率が高いことが特徴である。

① 業種別製造品出荷額等

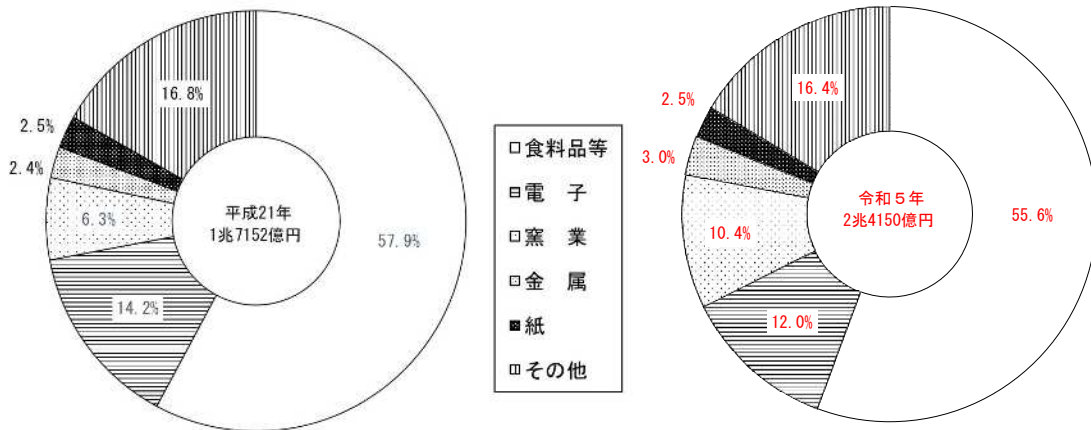
(単位：億円，%)

業種	平成21年		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
	金額	構成比	金額	金額	金額	金額	金額	金額	構成比
食料品等 (うち畜産関連)	9,926 (3,166)	57.9 (18.5)	10,967 (3,737)	10,775 (3,757)	10,931 (3,996)	11,756 (3,999)	12,851 (4,264)	13,438 (4,650)	55.6 (19.3)
電子	2,435	14.2	3,041	2,923	2,806	2,961	3,038	2,898	12.0
窯業	1,078	6.3	1,883	1,690	1,817	2,514	2,711	2,513	10.4
金属	404	2.4	508	515	503	594	676	731	3.0
紙	425	2.5	497	514	484	515	571	608	2.5
その他	2,883	16.8	3,802	3,523	3,286	3,722	4,299	3,961	16.4
総計	17,152	100.0	20,699	19,940	19,828	22,062	24,147	24,150	100.0

資料：総務省・経済産業省 工業統計調査(H21, H30, R元), 経済センサス-活動調査(R2), 経済構造実態調査(R3, R4, R5)

- (注) 1. 工業統計調査, 経済センサス-活動調査, 経済構造実態調査は集計範囲等が異なることから, 単純な時系列比較ができないので注意が必要である。
 2. 食料品等は, 「食料品製造業」と「飲料・たばこ・飼料製造業」の合計である。
 3. 食料品等のうち畜産関連は, 「部分肉・冷凍肉製造業」, 「肉加工品製造業」, 「その他の畜産食料品製造業」の合計であり, 「処理牛乳・乳飲料製造業」, 「乳製品製造業」は秘匿数値のため, 畜産関連から除いている。
 4. 数値は単位未満で, 比率は小数点第二位で四捨五入しているため, 内訳の計と総計が一致しない場合がある。

製造品出荷額等の構成比



③ 業種別従業者数

(単位：人，%)

業種	平成21年		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
	従業者数	構成比	従業者数	従業者数	従業者数	従業者数	従業者数	従業者数	構成比
食料品等 (うち畜産関連)	30,649 (8,420)	43.0 (11.8)	31,475 (9,266)	30,029 (9,173)	29,795 (8,835)	30,630 (8,828)	31,268 (9,782)	31,280 (9,910)	42.9 (13.6)
電子	13,756	19.3	12,023	12,378	12,623	12,816	12,928	12,594	17.3
窯業	6,427	9.0	7,412	7,280	7,612	8,097	8,278	8,203	11.2
金属	2,717	3.8	2,729	2,655	2,680	3,019	3,095	3,011	4.1
紙	802	1.1	828	867	961	957	1,002	999	1.4
その他	16,932	23.8	16,946	16,354	15,725	17,052	17,043	16,851	23.1
総計	71,283	100.0	71,413	69,563	69,396	72,571	73,614	72,938	100.0

資料：総務省・経済産業省 工業統計調査(H21, H30, R元), 経済センサス-活動調査(R2), 経済構造実態調査(R3, R4, R5)

- (注) 1. 工業統計調査, 経済センサス-活動調査, 経済構造実態調査は集計範囲等が異なることから, 単純な時系列比較ができないので注意が必要である。
 2. 食料品等は, 「食料品製造業」と「飲料・たばこ・飼料製造業」の合計である。
 3. 食料品等のうち畜産関連は, 「部分肉・冷凍肉製造業」, 「肉加工品製造業」, 「その他の畜産食料品製造業」の合計であり, 「処理牛乳・乳飲料製造業」, 「乳製品製造業」は秘匿数値のため, 畜産関連から除いている。
 4. 数値は単位未満で, 比率は小数点第二位で四捨五入しているため, 内訳の計と総計が一致しない場合がある。

④ 製造業における進出企業の割合等

(単位：人，百万円，%)

区分	年次						
	平成21年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
事業所数	2,479	2,423	2,094	2,035	2,027	1,944	2,023
うち進出企業 (構成比)	282 (11.4)	241 (9.9)	256 (12.2)	265 (13.0)	263 (13.0)	256 (13.2)	257 (12.7)
従業者数	71,283	69,539	69,683	70,438	71,413	69,563	69,396
うち進出企業 (構成比)	29,253 (41.0)	27,093 (39.0)	28,520 (40.9)	29,632 (42.1)	29,843 (41.8)	29,866 (42.9)	28,885 (41.6)
製造品出荷額等	1,715,169	2,054,700	1,957,944	2,067,643	2,069,878	1,993,967	1,982,830
うち進出企業 (構成比)	861,570 (50.2)	1,125,867 (54.8)	1,062,780 (54.3)	1,191,249 (57.6)	1,192,628 (57.6)	1,138,818 (57.1)	1,117,763 (56.4)

資料：総合政策部「鹿児島県の工業」

(注) 平成27年及び令和2年の数値は経済センサス-活動調査結果の数値であり，個人経営調査票による調査分を含まない。

⑤ 県特産品出荷額の推移

(単位：百万円，%)

品目	年次							R5 / H21
	平成21年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
大島紬	582	381	285	390	543	548	651	111.9
焼ちゅう	134,493	96,943	90,107	81,917	80,781	78,512	86,073	64.0
水産干物	48,186	57,131	53,560	49,154	56,577	66,131	63,953	132.7
荒茶・緑茶	34,407	44,407	38,902	36,463	41,877	40,125	38,701	112.5
粗糖	12,773	9,155	8,138	8,911	8,490	9,050	10,265	80.4

資料：総務省・経済産業省 工業統計調査(H21, H30, R元)，経済センサス-活動調査(R2)，経済構造実態調査(R3, R4, R5)

- 注) 1. 工業統計調査，経済センサス-活動調査，経済構造実態調査は集計範囲等が異なることから，単純な時系列比較ができないので注意が必要である。
 2. 水産干物は，「塩干・塩蔵品」，「素干・煮干」，「他に分類されない水産食料品」の合計，荒茶・緑茶は「荒茶」，「緑茶(仕上茶)」の合計であり，大島紬は「その他の絹小幅織物」，粗糖は「粗糖(糖みつ，黒糖を含む)」の金額である。
 3. 数値は単位未満で，比率は小数点第二位で四捨五入しているため，内訳の計と総計が一致しない場合がある。

⑥ 主要工業団地

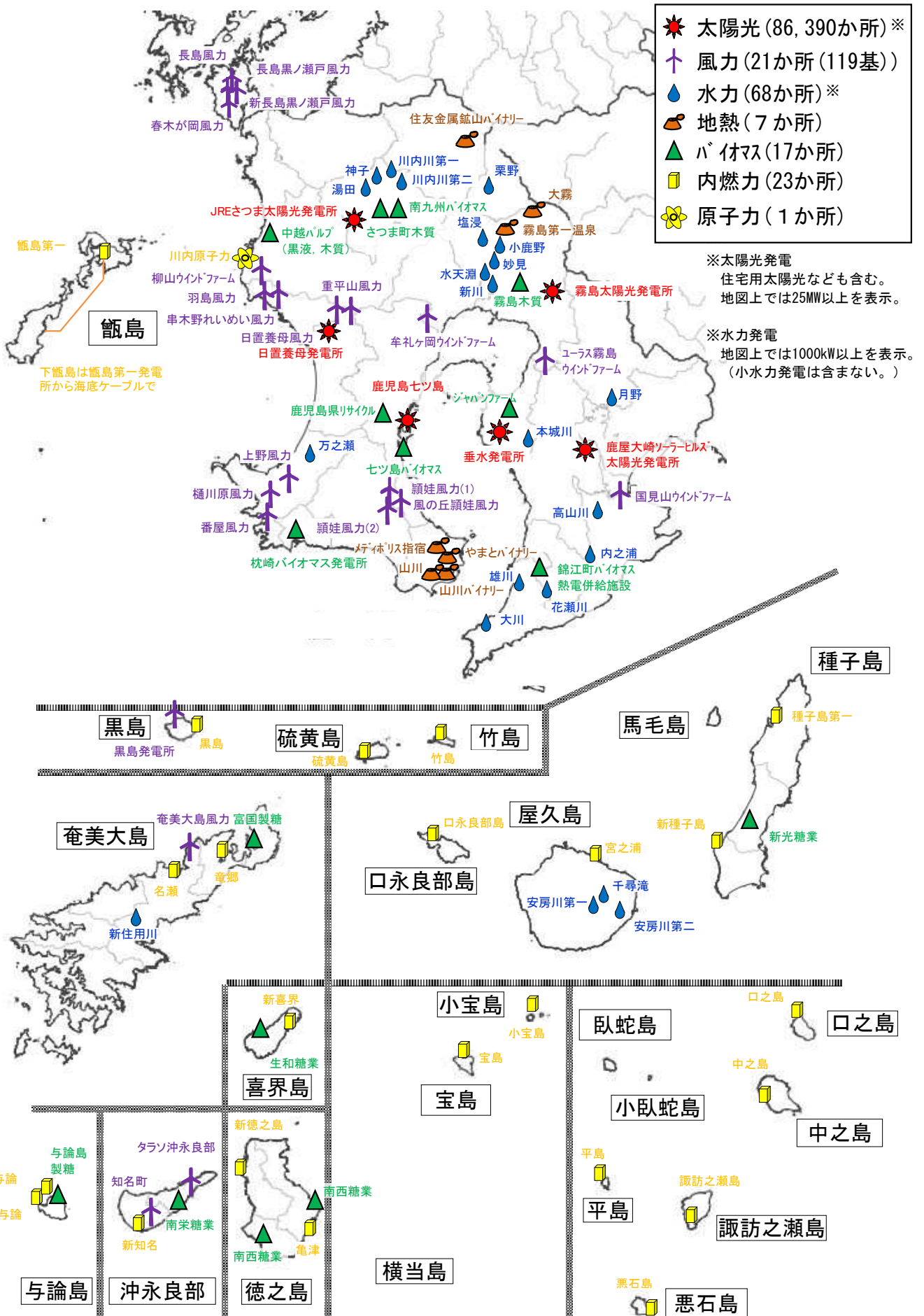
(令和7年3月現在)

団地名	所在地	分譲開始年度	全体面積 (ha)	分譲対象面積 (ha)	分譲済面積 (ha)	分譲可能面積 (ha)	分譲単価 (円/㎡当り)
鹿児島臨空団地	霧島市	H16	23.5	18.8	17.9	0.9	28,168 (土地取得補助制度有)

資料：商工労働水産部資料

- (注) 1 団地面積は，道路・公園等の公共施設用地面積を含む。
 2 鹿児島臨空団地の土地取得補助制度は，土地購入費の一部を補助するもの。

⑦ 県内発電所の状況



資料：商工労働水産部，九州電力(株)鹿児島支店，九州電力送配電(株)，屋久島電工(株) ほか
(R7.3月末現在)

出典：地理院タイル(白地図)を加工して作成

⑧ 県内発電所の状況一覧

地域	No	太陽光(6箇所) ※25MW以上	
		発電所	市町村
鹿児島	1	鹿児島七ツ島カソーラー	鹿児島市
	2	日置養母発電所	日置市
北薩	3	JRE さつま太陽光発電所	さつま町
始良・伊佐	4	霧島太陽光発電所	霧島市
大隅	5	鹿屋大崎ソーラーヒルズ太陽光発電所	鹿屋市・大崎町
	6	垂水発電所	垂水市

ほか、25MW未満 86,384箇所

地域	No	地熱(7箇所)	
		発電所	市町村
南薩	1	メディポリス指宿	指宿市
	2	山川	指宿市
	3	やまとバイナリー	指宿市
始良・伊佐	4	山川バイナリー	指宿市
	5	大霧	霧島市
	6	霧島第一温泉	霧島市
	7	住友金属鉱山バイナリー	伊佐市

地域	No	風力(21箇所)	
		発電所	市町村
鹿児島	1	牟礼ヶ岡ウインドファーム	鹿児島市
	2	重平山風力	日置市
	3	日置養母風力	日置市
	4	羽島風力	いちき串木野市
	5	串木野れいめい風力	いちき串木野市
	6	黒島発電所	三島村
南薩	7	上野風力	南さつま市
	8	樋川原風力	南さつま市
	9	番屋風力	南さつま市
	10	風の丘颯娃風力	南九州市
	11	颯娃風力	南九州市
北薩	12	柳山ウインドファーム	薩摩川内市
	13	春木が岡風力	長島町
	14	長島風力	長島町
	15	長島黒ノ瀬戸風力	長島町
	16	新長島黒ノ瀬戸風力	長島町
	始良・伊佐	17	ユーラス霧島ウインドファーム
大隅	18	国見山ウインドファーム	肝付町
奄美	19	奄美大島風力	奄美市
	20	タノ沖永良部	和泊町
	21	知名町	知名町

地域	No	バイオマス(17箇所)	
		発電所	市町村
鹿児島	1	鹿児島県リサイクル(木質)	鹿児島市
	2	七ツ島バイオマス(木質)	鹿児島市
南薩	3	枕崎バイオマス発電所(木質)	枕崎市
北薩	4	中越パルプ工業(黒液)	薩摩川内市
	5	中越パルプ工業(木質)	薩摩川内市
	6	南九州バイオマス(家畜ふん尿)	さつま町
	7	さつま町バイオマス発電所	さつま町
始良・伊佐	8	霧島木質(木質)	霧島市
大隅	9	ジャパンファーム垂水工場(家畜ふん尿)	垂水市
	10	錦江町木質バイオマス熱電併給施設(木質)	錦江町
熊毛 奄美	11	新光糖業(バガス)	中種子町
	12	富国製糖(バガス)	奄美市
	13	生和糖業(バガス)	喜界町
	14	南西糖業(バガス)	徳之島町
	15	南西糖業(バガス)	伊仙町
	16	南栄糖業(バガス)	和泊町
	17	与論島製糖(バガス)	与論町

地域	No	水力(22箇所) ※1000kW以上	
		発電所	市町村
南薩	1	万之瀬	南さつま市
北薩	2	神子	さつま町
	3	湯田	さつま町
	4	川内川第一	さつま町
	5	川内川第二	さつま町
始良・伊佐	6	塩浸	霧島市
	7	妙見	霧島市
	8	水天淵	霧島市
	9	新川	霧島市
	10	小鹿野	霧島市
	11	栗野	湧水町
大隅	12	月野	曾於市
	13	高山川	肝付町
	14	本城川	垂水市
	15	花瀬川	錦江町
	16	雄川	南大隅町
	17	内之浦	肝付町
	18	大川	南大隅町
	熊毛	19	千尋滝
	20	安房川第一	屋久島町
	21	安房川第二	屋久島町
奄美	22	新住用川	奄美市

ほか、1000kW以下 46箇所

地域	No	内燃力(23箇所)	
		発電所	市町村
鹿児島	1	竹島	三島村
	2	硫黄島	三島村
	3	黒島	三島村
	4	口之島	十島村
	5	中之島	十島村
	6	諏訪之瀬島	十島村
	7	平島	十島村
	8	悪石島	十島村
	9	小宝島	十島村
	10	宝島	十島村
北薩	11	飯島第一	薩摩川内市
熊毛	12	種子島第一	西之表市
	13	新種子島	南種子町
	14	宮之浦	屋久島町
	15	口永良部島	屋久島町
	奄美	16	竜郷
	17	名瀬	奄美市
	18	新喜界	喜界町
	19	新徳之島	天城町
	20	亀津	徳之島町
	21	新知名	知名町
	22	与論	与論町
	23	新与論	与論町

地域	No	原子力(1箇所)	
		発電所	市町村
北薩	1	川内原子力	薩摩川内市

資料:商工労働水産部資料, 資源エネルギー庁(事業計画認定情報)

⑨ 再生可能エネルギーの導入状況

2023年3月に「再生可能エネルギー導入ビジョン2023」を策定し、目標として2023～2030年度の8年間の導入目標を設定している。

本県は多様で豊かな再生可能エネルギー資源が存在しており、特に太陽光発電の導入が進んでいる。

(単位…発電：kW 熱利用，燃料製造：kL)

区 分	導入実績		2023年度に 対する増減 ②-①	ビジョン目標		2023年度末に対する伸び率		
	2023年度末 ①	2024年度末 ②		2030年度末 容量 ③	目標に 対する現状 ②/③	2024年度末 ②/①	ビジョン目標 (2030年度) ③/①	
発 電	太陽光	2,521,360	2,591,821	70,461	2,980,000	87.0%	1.0倍	1.2倍
	風力	221,888	221,888	0	715,000	31.0%	1.0倍	3.2倍
	水力	264,575	266,205	1,630	292,000	91.2%	1.0倍	1.1倍
	うち、小水力	13,465	14,895	1,430	41,000	36.3%	1.1倍	3.0倍
	地熱	67,120	67,120	0	71,000	94.5%	1.0倍	1.1倍
	うち、バイナリー	7,120	7,120	0	11,000	64.7%	1.0倍	1.5倍
	バイオマス	143,625	143,670	45	149,000	96.4%	1.0倍	1.0倍
	海洋エネルギー	0	0	0	数例導入	-	-	-
小計		3,218,568	3,290,704	72,136	4,207,000	78.2%	1.0倍	1.3倍
熱 利 用	太陽熱	44,310	44,371	61	52,000	85.3%	1.0倍	1.2倍
	バイオマス熱	114,174	125,700	11,526	149,000	84.4%	1.1倍	1.3倍
	温泉熱	±0	±0	-	導入事例の増	-	-	-
	地中熱	291	291	0	460	63.3%	1.0倍	1.6倍
小計		158,775	170,362	11,587	201,460	84.6%	1.1倍	1.3倍
バイオマス燃料製造		65	58	-7	190	30.5%	0.9倍	2.9倍

資料：商工労働水産部資料

(注) 太陽光発電は、固定価格買取制度（FIT制度）・FIP制度による設備認定を受けている施設のみ。その他発電（風力，水力，地熱，バイオマス）は、固定価格買取制度（FIT制度）・FIP制度による設備認定を受けていない施設（九州電力㈱の発電所等）を含む。

(6) 商業

全国に比べ従業員1人当たり及び1事業所当たりの販売額が低い。消費者の購買行動の広域化や過疎化の進展により、既存の飲食料品等の小売業が減少している。

① 商業の動向

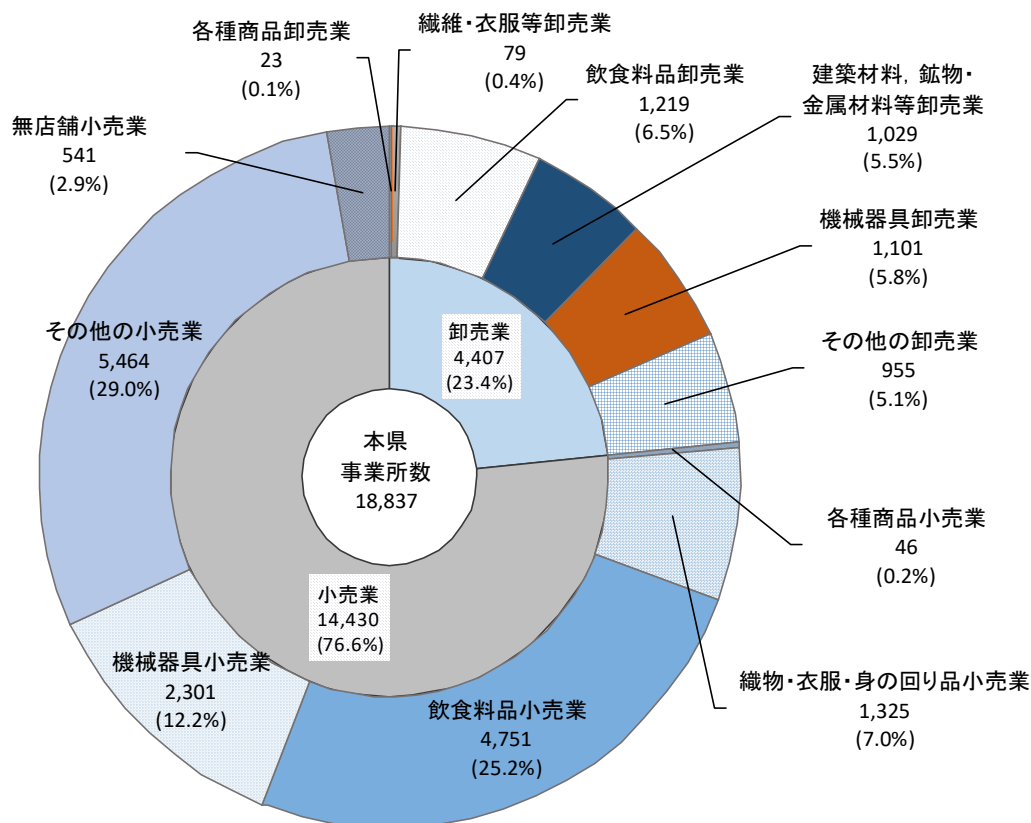
(単位：人、億円、%)

区分	卸売業				小売業				
	平成24年	平成26年	平成28年	令和3年	平成24年	平成26年	平成28年	令和3年	
事業所数	4,627	4,870	4,581	4,407	17,497	17,031	16,512	14,430	
従業者数	35,735	36,417	35,505	35,172	100,959	103,319	103,730	95,425	
年間商品販売額	21,735	22,500	27,961	23,744	13,592	14,606	16,530	15,292	
従業員1人 当たり 販売額 (万円)	本県	6,082	6,178	7,875	6,751	1,346	1,414	1,594	1,603
	全国	9,564	9,070	11,075	10,414	1,551	1,590	1,896	1,833
	格差	63.6	68.1	71.1	64.8	86.8	88.9	84.1	87.5
1事業所 当たり 販売額 (万円)	本県	46,974	46,201	61,038	53,877	7,768	8,576	10,011	10,597
	全国	98,337	93,278	119,656	115,118	11,114	11,921	14,653	15,702
	格差	47.8	49.5	51.0	46.8	69.9	71.9	68.3	67.5

資料：総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査 産業別集計（卸売業・小売業に関する集計）」

(注) 年間商品販売額は前年1年間の金額である。

② 業種別事業所数構成比



資料：総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査 産業別集計（卸売業・小売業に関する集計）」

(注) 1 管理、補助的経済活動を行う事業所、産業細分類が格付不能の事業所、卸売の商品販売額（仲立手数料を除く）、小売の商品販売額及び仲立手数料のいずれの金額も無い事業所を含む。

2 業種が格付不能の事業所があるため、内訳の計と合計が一致しない。

3 比率は小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

(7) 観 光

① 延べ宿泊者数

(単位：人泊)

	令和7年(速報値)	令和6年	前年比(増減率)
延べ宿泊者数(1~12月)	8,278,460	8,378,560	△1.2%

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

※ 発地別県外延べ宿泊者数(構成比)

(資料：「鹿児島県観光動向調査」)

	北海道	東北	関東	北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄	海外
令和7年	1.0%	1.1%	21.9%	1.1%	5.3%	12.2%	3.0%	1.1%	40.4%	0.9%	12.0%
令和6年	1.0%	1.1%	22.4%	0.9%	5.6%	12.5%	3.1%	1.0%	41.5%	0.8%	10.1%
前年比(増減率)	0.0%	0.0%	△0.5%	0.2%	△0.3%	△0.3%	△0.1%	0.1%	△1.1%	0.1%	1.9%

(注) 1 県内主要宿泊施設が調査対象

2 九州は鹿児島県を除く6県の合計

3 令和6年の数値は、令和7年サンプル施設数とベースを合わせているため、「令和6年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

② 外国人延べ宿泊者数

(単位：人泊)

	令和7年(速報値)	令和6年	前年比(増減率)
外国人延べ宿泊者数(1~12月)	696,790 (555,430)	620,050 (485,370)	12.4% (14.4%)

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

(注) 各欄の下段(括弧書き)は、従業者数10人以上の施設の宿泊者数

※ 国・地域別外国人延べ宿泊者数(令和7年(速報値))

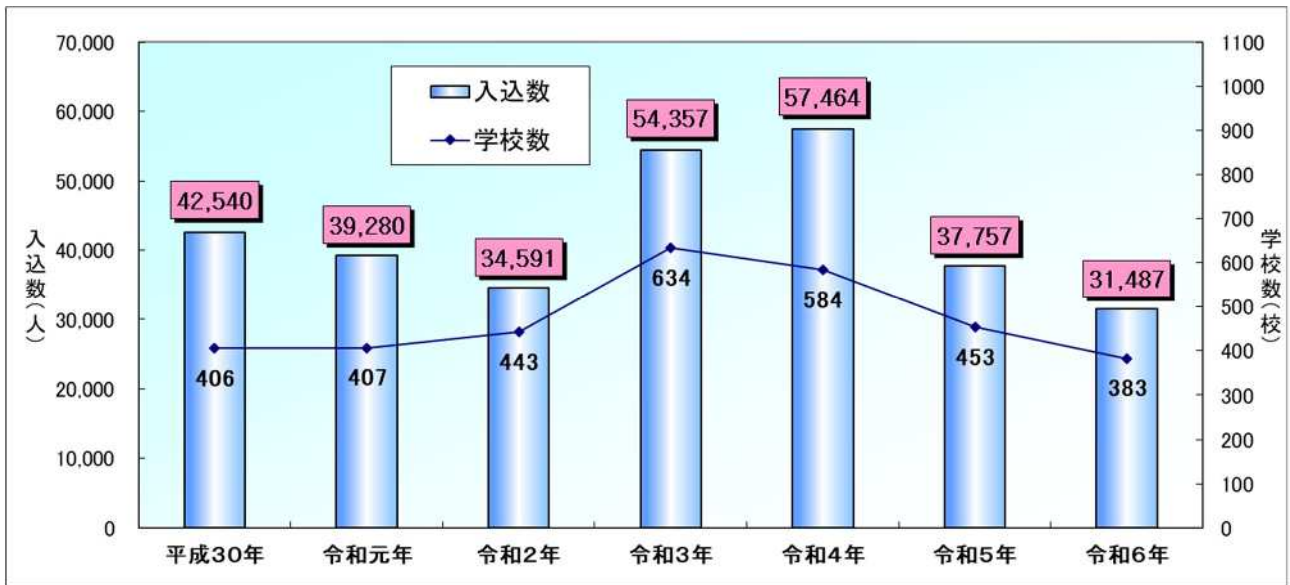
国・地域	延べ宿泊者数	構成比	前年比(増減率)
韓国	191,940	34.6%	51.2%
中国	109,840	19.8%	28.4%
台湾	67,880	12.2%	3.6%
アメリカ	31,220	5.6%	29.4%
香港	26,580	4.8%	△62.4%
シンガポール	13,160	2.4%	△10.9%
ドイツ	10,470	1.9%	25.1%
オーストラリア	9,380	1.7%	9.5%
フランス	9,140	1.6%	18.4%
イギリス	8,140	1.5%	20.8%
その他	63,030	11.3%	△5.1%
合計 (令和6年)	555,430 (485,370)		14.4%

(注) 1 従業者数10人以上の施設が調査対象

2 国籍(出身地)不詳を含むため内訳と合計は一致しない。

③ 教育旅行の受入状況

■ 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況（推移）

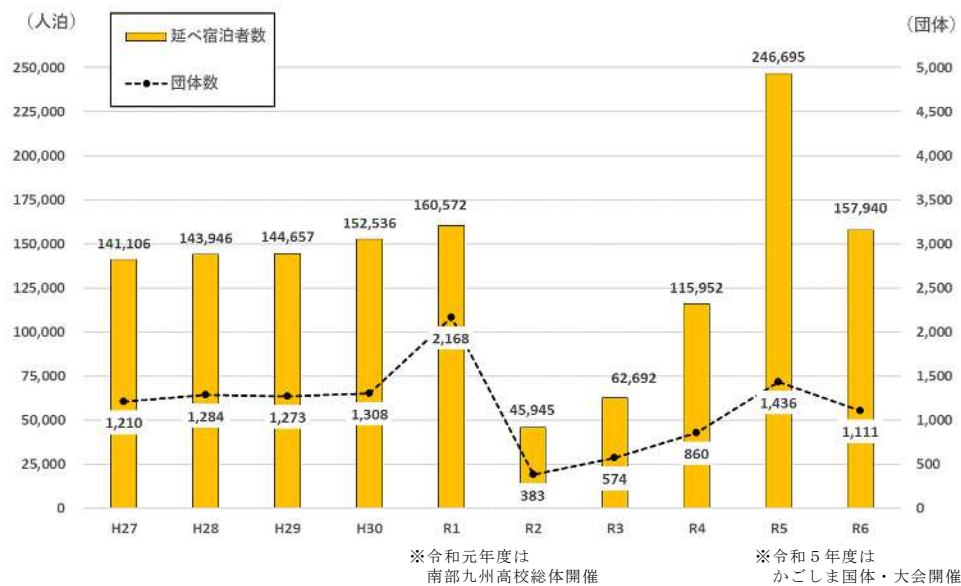


資料：県教育旅行受入対策協議会「令和6年鹿児島県修学旅行等入込状況調査」

※ 平成30年～令和元年，令和5～6年に継続的に回答のあった24施設・団体の結果を集計。なお，令和2年～4年については，一部回答を得ていない施設があり，令和2年は21施設・団体，令和3年は22施設・団体，令和4年は21施設・団体からの回答をもとに算出。

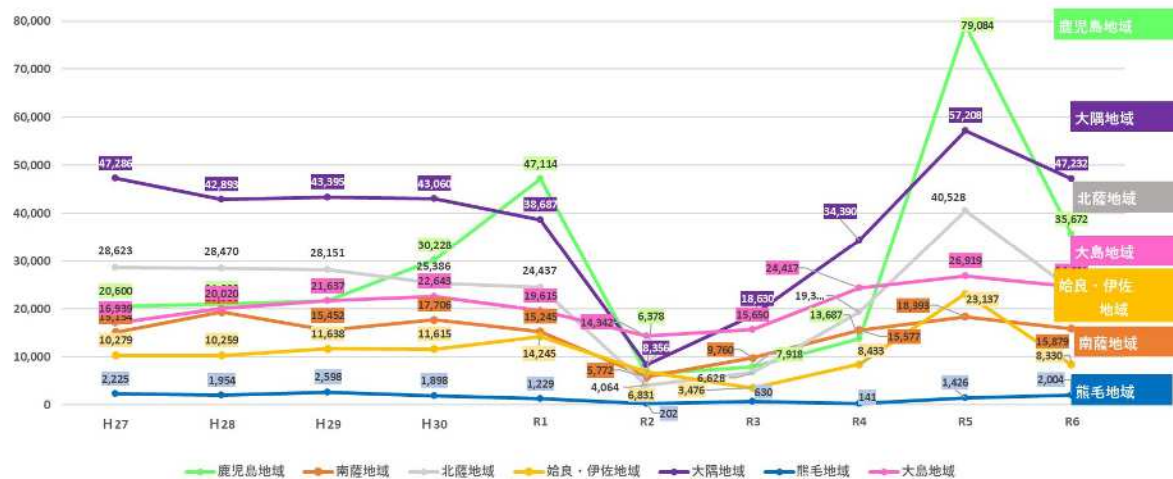
④ スポーツ合宿の受入状況

ア 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況（推移）



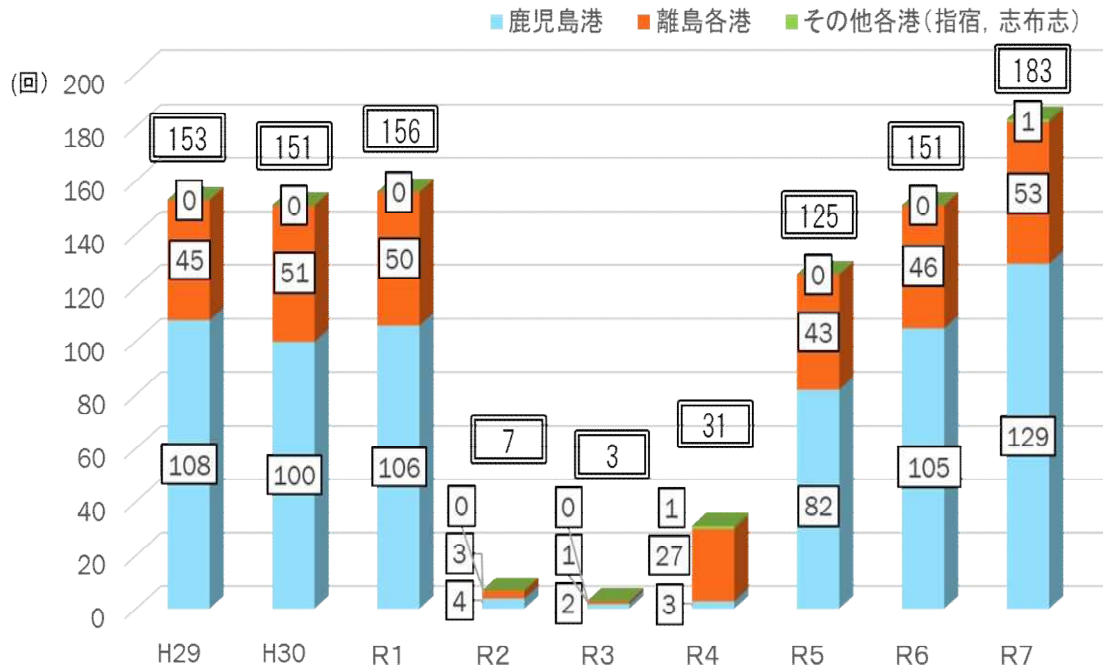
	R6年度	R5年度	対前年度	
			増減数	増減率(%)
延べ宿泊者数 (人泊)	157,940	246,695	-88,755	-35.98
実人数 (人)	28,458	72,807	-44,349	-60.91
団体数 (団体)	1,111	1,436	-325	-22.63

イ 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況（推移）



資料：観光・文化スポーツ部「令和6年度鹿児島県スポーツキャンプ・合宿状況実施調査結果」

⑤ 鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況



		(回)								
県内各港(計)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		153	151	156	7	3	31	125	151	183
内 訳	鹿児島港	108	100	106	4	2	3	82	105	129
	志布志港						1			
	指宿港									1
	西之表港	3	2	6				1	3	7
	宮之浦港	24	24	17	1	1	18	13	19	12
	名瀬港	13	21	20	2		9	17	11	22
	その他離島港	5	4	7				12	13	12

※土木部資料